

平成 22 年 8 月 25 日

## 町丁の境界を考慮した参議院議員選挙仮想選挙区割

東京大学大学院法学政治学研究科

大学院生 白井 悠人

### 目次

一. 概要 .....	2
1. 本資料の特徴・目的 .....	2
2. 選挙区割の方法 .....	2
3. 結果の概要・現状との対比 .....	3
二. 選挙区割詳細 .....	6
1. 北海道ブロック（定数 5） .....	6
2. 東北ブロック（定数 7） .....	7
3. 北関東ブロック（定数 7） .....	8
4. 東京ブロック（定数 12） .....	10
5. 南関東ブロック（定数 21） .....	10
6. 中部ブロック（定数 22） .....	11
7. 近畿ブロック（定数 20） .....	13
8. 四国ブロック（定数 4） .....	14
9. 中国ブロック（定数 7） .....	15
10. 九州・沖縄ブロック（定数 14） .....	17

## 一．概要

### 1. 本資料の特徴・目的

本仮想選挙区割は、参議院議員選挙（選挙区制）の区割として、実現可能な一案を示すものである。

現在、参議院議員選挙においては、選挙区制の選挙は各都道府県を単位として行っている。本仮想選挙区割では、都道府県ではなく、参議院選挙制度改革案（2010年8月4日付東京新聞掲載）が用いている全国10ブロックの地域区分を基礎とし、これを修正する形で区割案を提示する。

現行公職選挙法が採用する地域枠組を基礎とし、現行公職選挙法上許されていると考えられる方法により選挙区割を行った場合でも、選挙区の設定が適切になされるならば、選挙区間の投票価値の不平等は相当程度縮減可能である。これを本資料において示したい。

### 2. 選挙区割の方法

本選挙区割は、参議院選挙制度改革案が採用する、全国を10のブロックに分割する地域枠組を採用している。

作業においてはまず、人口（127,767,994人。平成17年度国勢調査による）を確定し、各ブロックの人口比を基礎に各ブロックから選出されるべき国会議員の数（但し、合計で121名）を定め（表1参照）、次にそこで生じる格差を僅少化するよう、ブロックに属する地域を微調整する。微調整は各ブロックに然るべき人口を有する地域を加え、又は各ブロックから然るべき人口を有する地域を除く方法によるが、ここでブロックに加え、又はブロックから除く地域は、市・区に属する地域であれば大字・町丁を最小単位とする地域、町・村であれば当該町、村を最小単位とする地域とする。換言すれば市・区においては大字・町丁の内部に選挙区の境界を設けず、町・村においては当該町・村の内部に選挙区の境界を設けないということであり、これは現行公職選挙法が衆議院議員総選挙（小選挙区制）で採用する地域分割の方法に従ったものである。

基準人口は、1,055,933人（ $=127,767,994 \div 121$ ）である。

町丁の人口は多くても1000人程度であることが多いので、選挙区の人口を基準人口（1,055,933人（ $=127,767,994 \div 121$ ））に近付けるよう、様々な努力が可能である。無数にある大字・町丁の組み合わせを一つひとつ調べていけば、基準人口との誤差がほぼ生じないような選挙区割も可能であろう。本資料においては制作者の気付いた限りで、適宜適切と思われる選挙区の微調整を行っている。

なお、本書で引用された人口データは、特に注記がない限り、全て平成17年度国勢調査時の数字を使用している。

【表 1. 全国 10 ブロックの人口と、割り当てるべき議員数】

ブロック	人 口	割り当てるべき議員数 (定数)	微調整前に生じる投票価値の格差
北海道ブロック	5,662,737 人	5 人	0.8839
東北ブロック	9,634,917 人	9 人	0.9293
北関東ブロック	7,015,933 人	7 人	0.9926
東京ブロック	12,576,601 人	12 人	0.9492
南関東ブロック	22,786,817 人	21 人	0.9168
中部ブロック	22,756,190 人	22 人 <sup>(注 1)</sup>	0.9181
近畿ブロック	20,893,067 人	20 人 <sup>(注 1)</sup>	1
四国ブロック	4,086,457 人	4 人	0.9738
中国ブロック	7,675,747 人	7 人	0.9073
九州・沖縄ブロック	14,714,528 人	14 人	0.9465
合 計	127,767,994 人	121 人 <sup>(注 2)</sup>	

(注 1) 参議院制度改革案では、中部ブロック・近畿ブロックの定数はともに 21 人となっているが、中部ブロックを 22 人、近畿ブロックを 20 人とした方が格差が縮小するため、このように修正した。

(注 2) 現在の参議院議員の定数=146 名 (選挙区選出) + 96 名 (比例) =242 名

3 年毎に半数が改選されるため、1 回の参議院総選挙の対象となる被選挙人の数=121 名 (=242÷2)

### 3. 結果の概要・現状との対比

次章二以下に詳細な選挙区割を示すが、結果の概要は以下のようになった。

選挙区間の人口最大格差は、1.00008 倍 ( $1.00008=1,055,963<\text{北関東ブロック}>\div 1,055,874<\text{東京ブロック}>$ ) まで縮減される。

各選挙区の人口が平等であれば、選挙区間の人口格差は 1.00 倍となるはずである。本仮想選挙区割によれば、選挙空間の最大人口格差は 1.00008 倍まで抑えられており、理想値 (1.00) からの乖離は僅少に抑えられる。

換言すれば、本仮想選挙区割によれば、選挙権の価値が最も高くなる東京ブロックに居住する国民の選挙権の価値を 1 とした場合、選挙権の価値が最も低くなる北関東ブロックに居住する国民にも、0.99991 票 ( $0.99991=1\div 1.00008$ ) の選挙権が与えられるということである。

一方で、平成 22 年 7 月 11 日施行第 22 回参議院議員通常選挙当日現在の有権者数における選挙区間の人口最大格差は、約 5.0040 倍 ( $5.0040=1,215,760<\text{神奈川県}>\div 242,956<\text{鳥取県}>$ ) である (総務省発表資料)。尚、平成 17 年度国勢調査時の人口データによると、選挙区間の人口最大格差は約 4.8418 倍 ( $4.8418=2,939,055<\text{大阪府}>\div 607,012<\text{鳥取県}>$ ) となる (下記表 4 参照)。

換言すれば、現行法では、選挙権の価値が最も高くなる鳥取県に居住する国民の選挙権の価値を 1 とした場合、選挙権の価値が最も低くなる神奈川県に居住する国民には、0.1998

(0.1998=1÷5.0040) の選挙権しか与えられていないということである。

上記のように、現行公職選挙法が採用する地域枠組を基礎とし、現行公職選挙法上許されていると考えられる方法により選挙区割を行った場合でも、投票価値の不平等は大いに縮減可能なのである。

【表 2. 本仮想選挙区割による各ブロックの人口・基準人口との誤差】

ブロック	ブロックの人口	基準人口 (注 1) ×定数との誤差 (単位：人)	議員 1 人あたり の人口 (注 2)	基準人口との誤 差 (単位：人)
北海道ブロック	5,279,585	-80	1,055,917	-16
東北ブロック	9,503,540	+143	1,055,949	+16
北関東ブロック	7,391,740	+209	1,055,963	+30
東京ブロック	12,670,485	-711	1,055,874	-59
南関東ブロック	22,174,749	+156	1,055,940	+7
中部ブロック	23,230,615	+89	1,055,937	+4
近畿ブロック	21,119,087	+427	1,055,954	+21
四国ブロック	4,223,701	-31	1,055,925	-8
中国ブロック	7,391,567	+36	1,055,938	+5
九州・沖縄ブロッ ク	14,782,925	-238 (注 3)	1,055,923	-10

(注 1) 基準人口は 1,055,933 人 (=127,767,994÷121)。

(注 2) 議員 1 人あたりの人口は、小数第 1 位以下を四捨五入した数字である。

(注 3) 九州・沖縄ブロックの「基準人口×定数」には、端数である 101 人が加算されている。

【表 3. 本仮想選挙区割による各ブロックの人口 (議員 1 人あたりの人口順)】

順位	ブロック	議員 1 人あたりの人口
1	北関東ブロック	1,055,963
2	近畿ブロック	1,055,954
3	東北ブロック	1,055,949
4	南関東ブロック	1,055,940
5	中国ブロック	1,055,938
6	中部ブロック	1,055,937
7	四国ブロック	1,055,925
8	九州・沖縄ブロック	1,055,923
9	北海道ブロック	1,055,917
10	東京ブロック	1,055,874

【表 4. 現行法の各選挙区の人口】

選挙区	人口（単位：人）	定数（注 1）	議員一人当たり人口（単位：人）
鳥取	607,012	1	607,012
島根	742,223	1	742,223
高知	796,292	1	796,292
徳島	809,950	1	809,950
福井	821,592	1	821,592
佐賀	866,369	1	866,369
山梨	884,515	1	884,515
香川	1,012,400	1	1,012,400
和歌山	1,035,969	1	1,035,969
福島	2,091,319	2	1,045,660
岐阜	2,107,226	2	1,053,613
長野	2,196,114	2	1,098,057
富山	1,111,729	1	1,111,729
秋田	1,145,501	1	1,145,501
宮崎	1,153,042	1	1,153,042
石川	1,174,026	1	1,174,026
宮城	2,360,218	2	1,180,109
大分	1,209,571	1	1,209,571
新潟	2,431,459	2	1,215,730
山形	1,216,181	1	1,216,181
京都	2,647,660	2	1,323,830
沖縄	1,361,594	1	1,361,594
滋賀	1,380,361	1	1,380,361
岩手	1,385,041	1	1,385,041
奈良	1,421,310	1	1,421,310
青森	1,436,657	1	1,436,657
広島	2,876,642	2	1,438,321
愛媛	1,467,815	1	1,467,815
長崎	1,478,632	1	1,478,632
茨城	2,975,167	2	1,487,584
山口	1,492,606	1	1,492,606
鹿児島	1,753,179	1	1,753,179
熊本	1,842,233	1	1,842,233
三重	1,866,963	1	1,866,963
静岡	3,792,377	2	1,896,189

岡山	1,957,264	1	1,957,264
栃木	2,016,631	1	2,016,631
千葉	6,056,462	3	2,018,821
群馬	2,024,135	1	2,024,135
埼玉	7,054,243	3	2,351,414
愛知	7,254,704	3	2,418,235
東京	12,576,601	5	2,515,320
福岡	5,049,908	2	2,524,954
兵庫	5,590,601	2	2,795,301
北海道	5,627,737	2	2,813,869
神奈川	8,791,597	3	2,930,532
大阪	8,817,166	3	2,939,055
合計	127,767,994	73	-

(注1) 定数は、半数改選分の73名としている。

## 二. 選挙区割詳細

### 1. 北海道ブロック (定数 5)

(本地域の人口=5,279,585)

<p>① 北海道について、以下の地域</p> <p>(1) 宗谷支庁 (人口 75,668 人)</p> <p>(2) 留萌支庁 (人口 61,494 人)</p> <p>(3) 上川支庁 (人口 535,480 人)</p> <p>(4) 網走支庁 (人口 324,849 人)</p> <p>(5) 根室支庁 (人口 84,057 人)</p> <p>(6) 釧路支庁 (人口 261,891 人)</p> <p>(7) 十勝支庁 (人口 354,146 人)</p> <p>(8) 日高支庁 (人口 81,407 人)</p> <p>(9) 胆振支庁 (人口 426,639 人)</p> <p>(10) 空知支庁 (人口 365,594 人)</p>	<p>(人口 : 5,279,585 人)</p>
---	---------------------------

	<p>(11) 石狩支庁（人口 2,310,015 人）</p> <p>(12) 後志支庁（人口 250,066 人）</p> <p>(13) 檜山支庁（人口 46,996 人）</p> <p>(14) 長万部町、八雲町、森町、七飯町、鹿部町（これらの市区町村の人口は計 79,626 人）</p> <p>(15) 函館市のうちの下記地域（地域の総人口：21,657 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鱒川町、寅沢町、三森町、紅葉山町、庵原町、亀尾町、米原町、東畑町、鉄山町、蛾眉野町、志海苔町、瀬戸川町、赤坂町、銭亀町、中野町、新湊町、石倉町、古川町、豊原町、石崎町、鶴野町、白石町、小安町、釜谷町、汐首町、瀬田来町、弁才町、泊町、館町、浜町、新二見町、原木町、丸山町、小安山町、日浦町、豊浦町、大潤町、中浜町、川上町、女那川町、高岱町、日ノ浜町、古武井町、柏野町、恵山町、御崎町、日和山町、吉畑町、絵紙山町、銚子町、新浜町、新八幡町、島泊町、富浦町、元村町、恵山岬町、新恵山町、古部町、木直町、尾札部町、川汲町、安浦町、臼尻町、豊崎町、大船町、双見町、岩戸町</p> </div>	
合計		5,279,585 人

(注) 函館市の残りの地域（7 ページ参照）は東北ブロックに属する。

## 2. 東北ブロック（定数 7）

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口+⑥の人口+⑦の人口)  
=9,503,540)

①	<p><b>北海道について、以下の地域</b></p> <p>(1) 函館市のうちの下記地域（地域の総人口：272,607 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>入舟町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、東川町、豊川町、大手町、栄町、旭町、東雲町、大森町、松風町、若松町、千歳町、新川町、上新川町、海岸町、大縄町、松川町、万代町、浅野町、吉川町、北浜町、港町、追分町、亀田町、大川町、田家町、白鳥町、八幡町、宮前町、中島町、千代台町、堀川町、高盛町、宇賀浦町、日乃出町、的場町、時任町、杉並町、本町、梁川町、五稜郭町、柳町、松陰町、人見町、金堀町、乃木町、柏木町、川原町、深堀町、駒場町、広野町、湯浜町、湯川町、戸倉町、榎本町、花園町、日吉町、上野町、高丘町、滝沢町、見晴町、鈴蘭丘町、上湯川町、銅山町、旭岡町、西旭岡町、根崎町、高松町、富岡町、中道、山の手、本通、鍛冶、陣川町、神山町、神山、東山町、東山、美原、赤川町、赤川、亀田中野町、水元町、亀田大森町、石川町、桔梗、桔梗町、西桔梗町、昭和町、昭和、亀田本町、亀田港町、陣川、北美原、函館山、水面調査区</p> </div> <p>(2) 北斗市、木古内町、知内町、福島町、松前町（これらの市</p>	(人口：348,152 人)
---	---	----------------

	区町村の人口は計 75,545 人)	
②	青森県	(人口 : 1,436,657 人)
③	秋田県	(人口 : 1,145,501 人)
④	岩手県	(人口 : 1,385,041 人)
⑤	宮城県	(人口 : 2,360,218 人)
⑥	山形県	(人口 : 1,216,181 人)
⑦	<b>福島県について、以下の地域</b> (1) 南会津地方振興局 (人口 32,913 人) (2) 会津地方振興局 (人口 278,018 人) (3) 県北地方振興局 (人口 510,792 人) (4) 相双地方振興局 (人口 200,931 人) (5) 県中地方振興局 (人口 560,826 人) (6) いわき市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 28,310 人) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 四倉町、四倉町上仁井田、四倉町塩木、四倉町下仁井田、四倉町細谷、  四倉町名木、四倉町長友、四倉町戸田、四倉町白岩、四倉町中島、四  倉町玉山、四倉町山田小湊、四倉町薬王寺、四倉町下柳生、四倉町上  柳生、四倉町駒込、四倉町八茎、四倉町上岡、小川町下小川、小川町  関場、小川町上平、小川町柴原、小川町福岡、小川町上小川、小川町  塩田、小川町高萩、小川町三島、小川町西小川、三和町上三坂、三和  町中三坂、三和町下三坂、三和町差塩、三和町上永井、三和町下永井、  三和町合戸、三和町渡戸、三和町中寺、三和町下市萱、三和町上市萱、  川前町川前、川前町下桶売、川前町上桶売、川前町小白井 </div>	(人口 : 1,611,790 人)
	合 計	9,503,540 人

(注) いわき市の残りの地域 (8~9 ページ参照) は北関東ブロックに属する。

### 3. 北関東ブロック (定数 7)

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口=7,391,740)

①	<b>福島県について、以下の地域</b> (1) いわき市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 326,182 人) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 平、平上平窪、平中平窪、平下平窪、平中塩、平石森、平四ツ波、平  幕ノ内、平鯨岡、平大室、平北白土、平南白土、平谷川瀬、平上荒川、  平下荒川、平中山、平小泉、平吉野谷、平上高久、平中神谷、平塩、  平鎌田、平上神谷、平上片寄、平下片寄、平豊間、平薄磯、平沼ノ内、 </div>	(人口 : 479,529 人)
---	--	------------------

	<p>平沼ノ内、平下高久、平神谷作、平上山口、平下山口、平山崎、平菅波、平荒田目、平上大越、平下大越、平藤間、平泉崎、平下神谷、平原高野、平馬目、平絹谷、平北神谷、平水品、平赤井、自由ヶ丘、郷ヶ丘、明治団地、平鶴ヶ井、江名、折戸、中之作、永崎、小名浜上神白、小名浜下神白、小名浜、小名浜岡小名、小名浜南富岡、小名浜大原、小名浜相子島、小名浜住吉、小名浜島、小名浜野田、小名浜岩出、小名浜林城、小名浜金成、小名浜玉川町、鹿島町御代、鹿島町船戸、鹿島町久保、鹿島町下蔵持、鹿島町走熊、鹿島町下矢田、鹿島町米田、鹿島町飯田、葉山、泉町本谷、泉町滝尻、泉町下川、泉町黒須野、泉町、泉町玉露、渡辺町洞、渡辺町泉田、渡辺町昼野、渡辺町田部、渡辺町松小屋、渡辺町中釜戸、渡辺町上釜戸、洋向台、植田町、後田町、仁井田町、高倉町、江畑町、添野町、石塚町、東田町、佐糠町、岩間町、小浜町、錦町、勿来町、川部町、沼部町、三沢町、川部町、瀬戸町、富津町、山田町、金山町、中岡町、常磐湯本町、常磐関船町、常磐水野谷町、常磐藤原町、常磐白鳥町、常磐西郷町、常磐長孫町、常磐岩ヶ岡町、常磐馬玉町、常磐下船尾町、常磐下湯長谷町、常磐松が台、常磐上湯長谷町、常磐三沢町、常磐松久須根町、常磐上矢田町、若葉台、桜ヶ丘、内郷白水町、内郷宮町、内郷内町、内郷綴町、内郷高坂町、内郷御厩町、内郷御台境町、内郷小島町、内郷高野町、小島町、四倉町大森、四倉町狐塚、遠野町深山田、遠野町上遠野、遠野町滝、遠野町根岸、遠野町上根本、遠野町入遠野、遠野町大平、好間町榊小屋、好間町大和、好間町北好間、好間町上好間、好間町中好間、好間町下好間、好間町小谷作、好間町愛谷、好間町今新田、好間町川中子、田人町南大平、田人町旅人、田人町黒田、田人町荷路夫、田人町貝泊、田人町石住、久之浜町末続、久之浜町金ヶ沢、久之浜町久之浜、久之浜町田之網、大久町大久、大久町小久、大久町小山田、好間工業団地、久之浜町西、泉玉露、湘南台、泉ヶ丘、南台、草木台、中央台飯野、中央台鹿島、中央台高久、平成、鹿島町上蔵持</p>	
	(2) 県南地方振興局 (人口 : 153,347 人)	
②	群馬県	(人口 : 2,024,135 人)
③	栃木県	(人口 : 2,016,631 人)
④	<p>茨城県について、以下の地域</p> <p>(1) 県西地域 (人口 589,143 人)</p> <p>(2) 県央地域 (人口 474,571 人)</p> <p>(3) 県北地域 (人口 655,302 人)</p> <p>(4) 鹿行地域 (人口 278,915 人)</p> <p>(5) 土浦市、牛久市、つくば市、利根町、石岡市、龍ヶ崎市、稲敷市、かすみがうら市、守谷市、美浦村、阿見町、河内町 (これらの市区町村の人口は計 865,909 人)</p> <p>(6) 取手市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 7,605 人)</p> <p>藤代、浜田、上萱場、下萱場、萱場、新川、大曲、双葉</p>	(人口 : 2,871,445 人)
	合 計	7,391,740 人

(注) 取手市の残りの地域 (10 ページ参照) は南関東ブロックに属する。

#### 4. 東京ブロック（定数 12）

（①の人口+②の人口=12,670,485）

①	東京都	(人口：12,576,601人)
②	神奈川県について、以下の地域 川崎市高津区のうちの下記地域（地域の総人口：93,884人）  溝口、溝口、久地、久地、宇奈根、二子、瀬田、諏訪、北見方、下野毛、久本3丁目、下作延、上作延、向ヶ丘	(人口：93,884人)
	合計	12,670,485人

（注）川崎市高津区の残りの地域（10ページ参照）は南関東ブロックに属する。

#### 5. 南関東ブロック（定数 21）

（①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口=22,174,749）

①	茨城県について、以下の地域 取手市のうちの下記地域（地域の総人口：103,722人）  白山、中原町、取手、新町、取手、東、中央町、台宿、台宿、井野、井野台、井野、井野団地、青柳、青柳、吉田、長兵衛新田、小堀、小文間、本郷、駒場、寺田、桑原、新取手、戸頭、戸頭、米ノ井、野々井、稲、西、下高井、上高井、貝塚、市之代、桐木、片町、宮和田、平野、押切、高須、大留、神浦、毛有、清水甲、光風台、清水乙、清水丙、小浮気、谷中、中田甲、中田乙、渋沼、岡、和田、山王、配松、神住、中内、桜が丘、藤代南	(人口：103,722人)
②	埼玉県	(人口：7,054,243人)
③	千葉県	(人口：6,056,462人)
④	神奈川県について、以下の地域 (1) 川崎市高津区のうちの下記地域（地域の総人口：107,908人）  久本1丁目、久本2丁目、梶ヶ谷、末長、新作、千年新町、野川、千年、子母口、明津、蟹ヶ谷、久末  (2) 川崎市川崎区、幸区、中原区、宮前区、多摩区、麻生区、横浜市（これらの市区町村の人口は計4,704,847人）  (3) 横須賀三浦地域県政総合センター（人口736,761人）	(人口：8,697,713人)

	<p>(4) 県央地域県政総合センター（人口 1,524,510 人）</p> <p>(5) 湘南地域県政総合センター（人口 1,262,582 人）</p> <p>(6) 西湘地域県政総合センター（人口 249,091 人）</p> <p>(7) 足柄上地域県政総合センター（人口 112,014 人）</p>	
⑤	<p><b>山梨県について、以下の地域</b></p> <p>(1) 丹波山村、小菅村、上野原市、大月市、道志村、都留市、忍野村、山中湖村、富士吉田市（旧上九一色村を除く）、西桂町、富士河口湖町、鳴沢村、甲州市（これらの市区町村の人口は計 232,906 人）</p> <p>(2) 山梨市のうちの下記地域（地域の総人口：29,703 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>上神内川、小原西、小原東、七日市場、下井尻、南、北、市川、江曾原、大工、堀内、水口、切差、万力、落合、上岩下、山根、矢坪、鴨居寺、東後屋敷、三ヶ所、上之割、東、西、牧丘町隼、牧丘町窪平、牧丘町城古寺、牧丘町千野々宮、牧丘町袖口、牧丘町室伏、牧丘町成沢、牧丘町柳平、牧丘町倉科、牧丘町西保下、牧丘町西保中、牧丘町牧平、牧丘町北原、三富上柚木、三富下荻原、三富徳和、三富川浦、三富下釜口、三富上釜口</p> </div>	（人口：262,609 人）
	合 計	22,174,749 人

（注）山梨市の残りの地域（11 ページ参照）は中部ブロックに属する。

## 6. 中部ブロック（定数 22）

①の人口＋②の人口＋③の人口＋④の人口＋⑤の人口＋⑥の人口＋⑦の人口＋⑧の人口＋⑨の人口＋⑩の人口＝23,230,615

①	<p><b>山梨県について、以下の地域</b></p> <p>(1) 山梨市のうちの下記地域（地域の総人口：8,983 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大野、下神内川、下石森、上石森、正徳寺、一町田中、歌田、下栗原、上栗原、中村</p> </div> <p>(2) 笛吹市、甲府市（旧上九一色村を除く）、旧上九一色村、甲斐市、昭和町中央市、市川三郷町、富士川町、身延町、南部町、早川町、南アルプス市、韮崎市、北杜市（これらの市区町村の人口は計 612,923 人）</p>	（人口：621,906 人）
---	--	----------------

②	長野県	(人口 : 2,196,114 人)
③	新潟県	(人口 : 2,431,459 人)
④	富山県	(人口 : 1,111,729 人)
⑤	石川県	(人口 : 1,174,026 人)
⑥	福井県	(人口 : 821,592 人)
⑦	静岡県	(人口 : 3,792,377 人)
⑧	愛知県	(人口 : 7,254,704 人)
⑨	三重県	(人口 : 1,866,963 人)
⑩	<p><b>岐阜県について、以下の地域</b></p> <p>(1) 岐阜振興局 (人口 802,218 人)</p> <p>(2) 中濃振興局 (人口 388,877 人)</p> <p>(3) 東濃振興局 (人口 358,884 人)</p> <p>(4) 飛騨振興局 (人口 165,610 人)</p> <p>(5) 海津市、養老町、安八町、輪之内町 (これらの市区町村の人口は計 96,685 人)</p> <p>(6) 大垣市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 147,471 人)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>旧墨俣町、郭町、郭町東、御殿町、馬場町、北切石町、番組町、西長町、鷹匠町、西外側町、東外側町、桐ヶ崎町、神田町、西崎町、丸の内、高砂町、室本町、室町、鳩部屋町、宮町、木戸町、高屋町、錦町、栗屋町、岐阜町、伝馬町、歩行町、本町、魚屋町、中町、清水町、高橋町、新地町、代官町、東長町、南高橋町、藤江町、橘町、千鳥町、旭町、船町、南切石町、新馬場町、今町、切石町、久瀬川町、日の出町、若森町、竹島町、今岡町、新町、恵比寿町、大池町、南類町、田町、寺内町、俵町、世安町、美和町、花園町、羽衣町、二葉町、八島町、河間町、宿地町、笠縫町、室村町、見取町、南一色町、笠木町、宝和町、本今町、南若森町、割田町、外花、青柳町、外野町、友江、入方、大外羽、西大外羽、多芸島、上笠、上屋、高淵町、築捨町、大井、長沢町、新長沢町、禾森、新田町、早苗町、住吉町、鹿島町、恵比寿町北、長井町、東前町、犬ヶ淵町、安井町、寿町、江崎町、問屋町、田口町、牧野町、熊野町、福田町、木呂町、荒尾町、荒尾玉池、古知丸、静里町、久徳町、中曾根町、檜町、荒川町、綾野町、野口、外淵、釜笛、内原、川口、島里、浅草、浅中、浅西、横曾根、昭和、小泉町、直江町、米野町、深池町、今福町、馬の瀬町、平町、古宮町、牧新田町、難波野町、曾根町、北方町、三津屋町、赤花町、領家町、西之川町、中野町、中川町、楽田町、坂下町、貝曾根町、八島町、大島町、開発町、津村町、新開町、和合新町、和合本町、加賀野、小野、東町、今宿、三塚町、緑園、波須、上面、三本木、万石、大村、中ノ江、鶴見町、長松町、新長松、十六町、島町、赤坂大門、赤坂新田、赤坂新町、赤坂東町、池尻町、興福地町、草道島町、青木町、南市橋町、神明、枝郷、菅野、榎戸町、矢道町、稲葉東、稲葉西、稲葉北、恵比寿町南、青柳町</p> </div>	(人口 : 1,959,745 人)

合 計	23,230,615 人
-----	--------------

(注) 大垣市の残りの地域 (13 ページ参照) は近畿ブロックに属する。

## 7. 近畿ブロック (定数 20)

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口+⑥の人口+⑦の人口+  
⑧の人口=21,119,087)

①	<b>岐阜県について、以下の地域</b> (1) 大垣市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 14,599 人) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">旧上石津町、赤坂町、昼飯町、青墓町、青野町</div> (2) 揖斐川町、大野町、神戸町、池田町、垂井町、関が原町 (これらの市区町村の人口は 132,882 人)	(人口 : 147,481 人)
②	<b>滋賀県</b>	(人口 : 1,380,361 人)
③	<b>京都府</b>	(人口 : 2,647,660 人)
④	<b>奈良県</b>	(人口 : 1,421,310 人)
⑤	<b>和歌山県</b>	(人口 : 1,035,969 人)
⑥	<b>大阪府</b>	(人口 : 8,817,166 人)
⑦	<b>兵庫県について、以下の地域</b> (1) 阪神北県民局 (人口 713,373 人) (2) 阪神南県民局 (人口 1,018,574 人) (3) 神戸県民局 (人口 1,525,393 人) (4) 東播磨県民局 (人口 718,429 人) (5) 北播磨県民局・丹波県民局 (人口 407,800 人) (6) 中播磨県民局 (人口 584,128 人) (7) 西播磨県民局 (人口 280,302 人) (8) 但馬県民局 (人口 191,211 人) (9) 淡路市のうちの下記地域 (地域の総人口 : 14,147 人) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">岩屋、楠本、久留麻、楠本、大磯、小磯、楠本、浦、白山、中持、久留麻、仮屋、野島常盤</div>	(人口 : 5,453,357 人)

⑧	<p><b>岡山県について、以下の地域</b></p> <p>(1) 備前市、瀬戸内市、和気町、赤磐市（これらの市区町村の人口は計 139,415 人）</p> <p>(2) 岡山市東区のうちの下記地域（地域の総人口：76,368 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>旧瀬戸町、宍甘、矢津、古都宿、藤井、鉄、古都南方、目黒町、大多羅町、中川町、可知、益野町、松新町、西隆寺、福治、富崎、久保、河本町、浅越、吉原、西庄、広谷、西大寺松崎、富士見町、西大寺射越、西大寺新地、西大寺門前、西大寺川口、西大寺浜、西大寺新、西大寺五明、長沼、乙子、神崎町、邑久郷、西幸西、東幸西、水門町、北幸田、南水門町、東幸崎、幸地崎町、宿毛、下阿知、上阿知、千手、西大寺一宮、宝伝、東片岡、西片岡、正儀、久々井、犬島、吉井、一日市、西祖、寺山、浅川、矢井、楯原、竹原、才崎、内ヶ原、百枝月、上道北方、沼、中尾、草ヶ部、谷尻、東平島、砂場、西平島、南古都、浦間、城東台西、城東台東、城東台南</p> </div>	(人口：215,783 人)
合計		21,119,087 人

(注) 淡路市の残りの地域 (14 ページ参照) は四国ブロックに、岡山市東区の残りの地域 (15 ページ参照) は中国ブロックに属する。

## 8. 四国ブロック (定数 4)

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口=4,223,701)

①	<p><b>兵庫県について、以下の地域</b></p> <p>(1) 淡路市のうちの下記地域（地域の総人口：34,931 人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>釜口、河内、谷、下田、釜口、里、下司、塩尾、塩田新島、志筑、志筑新島、中田、池ノ内、王子、野田尾、生穂、大谷、長沢、佐野、興隆寺、大町上、大町下、大町畑、木曾下、木曾上、木曾上畑、尾崎、新村、遠田、北山、郡家、多賀、下河合、上河合、竹谷、井手、中村、江井、柳沢、明神、草香北、高山、草香、南、深草、山田、入野、仁井、富島、斗ノ内、育波、室津</p> </div> <p>(2) 洲本市、南あわじ市（これらの市区町村の人口は計 102,313 人）</p>	(人口：137,244 人)
②	徳島県	(人口：809,950 人)
③	高知県	(人口：796,292 人)
④	愛媛県	(人口：1,467,815 人)
⑤	香川県	(人口：1,012,400 人)
合計		4,223,701 人

9. 中国ブロック（定数7）

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口=7,391,567)

<p>①</p>	<p>岡山県について、以下の地域</p> <p>(1) 岡山市東区・中区・北区・南区のうちの下記地域（地域の総人口：619,804人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>旧建部町、京山、谷万成、万成東町、万成西町、三門東町、三門中町、三門西町、岩井宮裏、関西町、葵町、岩井、西崎本町、西崎、高柳東町、高柳西町、矢坂東町、矢坂本町、矢坂西町、大安寺東町、大安寺中町、大安寺西町、大安寺南町、東野山町、西野山町、北長瀬本町、日吉町、野殿東町、野殿西町、南方、広瀬町、兵団、番町、弓之町、石関町、出石町、蕃山町、天神町、岩田町、富田町、野田屋町、駅前町、本町、錦町、平和町、磨屋町、幸町、柳町、田町、中央町、中山下、表町、丸の内、内山下、京橋町、伊福町、奉還町、国体町、伊島町、伊島北町、清心町、絵図町、いずみ町、津倉町、駅元町、寿町、富町、昭和町、下伊福、下伊福上町、下伊福本町、下伊福西町、中井町、大和町、学南町、玉柏、畑鮎、原、宿、金山寺、中原、高野尻、牟佐、中牧、下牧、北方、三野、三野本町、宿本町、半田町、法界院、津島東、理大町、津島中、津島新野、津島南、津島桑の木町、津島福居、津島本町、津島西坂、津島笹が瀬、津島京町、津島、下石井、桑田町、大供、大供表町、大供本町、鹿田町、鹿田本町、厚生町、春日町、大学町、東古松、東古松南町、西古松、大元駅前、奥田、奥田本町、奥田南町、奥田西町、神田町、島田本町、東島田町、中島田町、西島田町、新屋敷町、西之町、野田、北長瀬、万倍、米倉、当新田、西市、新保、富田、泉田、今村、西長瀬、中仙道、田中、辰巳、下中野、平田、久米、今保、白石、白石東新町、白石西新町、花尻、花尻あかね町、花尻ききょう町、花尻みどり町、西古松西町、大元上町、大元、今、上中野、北長瀬表町、問屋町、東中央町、南中央町、京町、京橋南町、舟橋町、天瀬、天瀬南町、清輝本町、清輝橋、岡町、山科町、船頭町、二日市町、下内田町、新道、御舟入町、旭町、旭本町、岡南町、七日市東町、七日市西町、十日市東町、十日市中町、十日市西町、青江、豊成、福田、福成、松浜町、千鳥町、若葉町、福吉町、三浜町、福浜町、海岸通、並木町、立川町、築港栄町、築港元町、築港新町、あけぼの町、浦安西町、浦安本町、浦安南町、郡、北浦、飽浦、宮浦、阿津、小串、福富東、福富中、福富西、福浜西町、新福、豊浜町、浜野、富浜町、洲崎、平福、福島、築港ひかり町、築港緑町、南輝、市場、東中島町、西中島町、後楽園、国富、住吉町、森下町、古京町、小橋町、中納言町、御幸町、さくら住座、新京橋、旭東町、門田屋敷本町、門田屋敷、徳吉町、御成町、赤坂本町、赤坂台、赤坂南新町、東山、湊、福泊、海吉、山崎、円山、倉益、倉富、倉田、桑野、沖元、藤崎、江崎、江並、新築港、奥市、門田文化町、門田本町、網浜、桜橋、平井、原尾島、浜、竹田、東川原、西川原、中島、さい、八幡、賞田、湯迫、国府市場、中井、雄町、今在家、祇園、高島新屋敷、長岡、下、長利、米田、神下、乙多見、四御神、土田、関、赤田、藤原、沢田、高屋、兼基、今谷、清水、八幡東町、高島、さい東町、藤原光町、藤原西町、光津、政津、君津、升田、豊田、九幡、金田、西大寺、西大寺北、西大寺上、西大寺中、西大寺南、西大寺東、向州、西大寺中野本町、西大寺中野、金岡東町、西大寺金岡、金岡西町、日心寺、三和、富吉、田原、菅野、高野、吉宗、栢谷、横井上、田益、富原、津高、津高台、横尾、長野、福谷、芳賀、佐山、松尾、大窪、首部、橋津、一宮山崎、一宮、今岡、幸川市場、西幸川、尾上、高松稲荷、平山、和井元、大崎、門前、福崎、下土田、高松田中、立田、高松、高松原古才、小山、三手、高塚、吉備津、加茂、津寺、新庄上、</p> </div>	<p>(人口：1,741,481人)</p>
----------	--	------------------------

	<p>新庄下、惣爪、東花尻、西花尻、川入、納所、平野、庭瀬、中撫川、撫川、延友、大内田、大福、古新田、妹尾崎、山田、妹尾、箕島、苔山、庄田、真星、掛畑、河原、東山内、間倉、西山内、山上、上高田、石妻、日近、杉谷、下高田、吉、大井、粟井、足守、下足守、上土田、西畦、曾根、中畦、内尾、東畦、藤田、岡山港・児島湾水域、御津北野、御津中山、御津中牧、御津吉尾、御津野々口、御津河内、御津宇垣、御津金川、御津草生、御津鹿瀬、御津下田、御津高津、御津宇甘、御津中泉、御津勝尾、御津紙工、御津虎倉、御津中畑、御津石上、御津矢知、御津平岡西、御津新庄、御津伊田、御津矢原、御津国ヶ原、御津芳谷、御津川高、灘崎町迫川、灘崎町宗津、灘崎町片岡、灘崎町川張、灘崎町彦崎、灘崎町植松、灘崎町西高崎、灘崎町西七区、灘崎町北七区、灘崎町西紅陽台</p> <p>(2) 玉野市、吉備中央町（これらの市区町村の人口は計 81,087 人）</p> <p>(3) 備前県民局（人口 788,993 人）</p> <p>(4) 美作県民局（人口 251,597 人）</p>	
②	広島県	(人口 : 2,876,642 人)
③	鳥取県	(人口 : 607,012 人)
④	島根県	(人口 : 742,223 人)
⑤	<p>山口県について、以下の地域</p> <p>(1) 宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町（これらの市区町村の人口は計 1,201,913 人）</p> <p>(2) 下関市のうちの下記地域（地域の総人口 : 222,296 人）</p> <p>貴船町、椋野町、山の口町、上田中町、後田町、石神町、幡生町、幡生本町、幡生宮の下町、生野町、宝町、三河町、大字町、山の田北町、山の田東町、山の田本町、山の田中央町、山の田南町、山の田西町、武久町、大字椋野、大字藤ヶ谷、卸新町、大字六連島、前田、長府高場町、長府向田町、長府浜浦町、長府浜浦南町、長府野久留米町、長府外浦町、長府黒門東町、長府黒門南町、長府羽衣町、長府松原町、長府新松原町、長府宮崎町、長府東侍町、長府侍町、長府川端、長府南之町、長府惣社町、長府古江小路町、長府中浜町、長府土居の内町、長府中之町、長府金屋町、長府金屋浜町、長府宮の内町、長府逢坂町、長府亀の甲、長府紺屋町、長府安養寺、長府珠の浦町、長府三島町、長府中土居本町、長府中土居北町、長府印内町、長府前八幡町、長府八幡町、長府古城町、長府中六波町、長府豊浦町、長府中尾町、長府豊城町、長府満珠町、長府四王司町、長府新四王司町、長府港町、長府江下町、長府松小田本町、長府松小田中町、長府松小田東町、長府松小田西町、長府松小田南町、長府松小田北町、長府扇町、ゆめタウン、長府才川、千鳥ヶ丘町、長府羽衣南町、長府日の出町、大字前田、大字高畑、大字松小田、大字才川、大字豊浦村、王司観音町、大字宇部、大字山田、大字員光、清末陣屋、清末西町、清末五毛、清末本町、清末中町、清末鞍馬、大字清末、大字阿内、小月駅前、小月茶屋、小月杉迫、小月公園町、小月本町、小月市原町、小月幸町、小月宮の町、</p>	(人口 : 1,424,209 人)

	<p>小月京泊、小月西の台、小月小島、小月南町、大字小月町、大字宇津井、大字松屋、大字吉田、秋根本町、秋根東町、秋根西町、秋根南町、秋根北町、一の宮町、勝谷新町、田倉御殿町、形山みどり町、秋根新町、一の宮学園町、一の宮本町、一の宮住吉、前勝谷町、大字秋根、大字楠乃、大字勝谷、大字田倉、大字形山、大字小野、大字井田、大字内日上、大字内日下、大字植田、綾羅木新町、綾羅木本町、綾羅木南町、古屋町、垢田町、新垢田東町、新垢田西町、新垢田南町、新垢田北町、稗田町、稗田西町、稗田南町、稗田北町、稗田中町、川中本町、伊倉町、伊倉本町、伊倉東町、川中豊町、熊野西町、大字伊倉、大字綾羅木、大字延行、大字有富、大字石原、梶栗町、富任町、安岡駅前、安岡本町、横野町、安岡町、大字蒲生野、大字富任、大字安岡、大字横野、大字福江、吉見竜王町、吉見古宿町、吉見本町、吉見新町、吉見里町、永田本町、大字吉見上、大字吉見下、大字永田郷、大字吉母、大字蓋井島、大字垢田、藤ヶ谷町、亀浜町、千鳥浜町、乃木浜、王司本町、王司川端、王司南町、王司上町、王司神田、東観音町、西観音町、員光町、赤池町、清末大門、清末千房、小月高雄町、一の宮卸本町、熊野町、棕野上町、瀬戸内海区、日本海区、あるかぼーと、武久西原台、長府満珠新町、清末東町、木屋川、木屋川本町、木屋川南町、王喜本町、王喜宇津井、白崎、松屋本町、松屋上町、松屋東町、秋根上町、形山町、一の宮東町、楠乃、東勝谷、長府浜浦西町、長府黒門町、菊川町大字田部、菊川町大字七見、菊川町大字上田部、菊川町大字西中山、菊川町大字東中山、菊川町大字上保木、菊川町大字下保木、菊川町大字縦ノ木、菊川町大字道市、菊川町大字響井、菊川町大字上大野、菊川町大字下大野、菊川町大字上岡枝、菊川町大字下岡枝、菊川町大字吉賀、菊川町大字久野、菊川町大字貴飯、菊川町大字楢崎、菊川町大字日新、豊田町大字柰路子、豊田町大字殿居、豊田町大字佐野、豊田町大字荒木、豊田町大字一ノ俣、豊田町大字稲見、豊田町大字金道、豊田町大字宇内、豊田町大字八道、豊田町大字鷹子、豊田町大字浮石、豊田町大字今出、豊田町大字地吉、豊田町大字大河内、豊田町大字殿敷、豊田町大字楢原、豊田町大字西市、豊田町大字矢田、豊田町大字庭田、豊田町大字中村、豊田町大字稲光、豊田町大字日野、豊田町大字高山、豊田町大字萩原、豊田町大字手洗、豊田町大字東長野、豊田町大字西長野、豊田町大字城戸、豊田町大字江良、豊田町大字阿座上、豊浦町大字宇賀、豊浦町大字小串、豊浦町大字川棚、豊浦町大字厚母郷、豊浦町大字黒井、豊浦町大字吉永、豊浦町大字涌田後地、豊浦町大字豊洋台、豊浦町大字室津下、豊浦町大字室津下、豊北町大字神田上、豊北町大字角島、豊北町大字神田、豊北町大字阿川、豊北町大字粟野、豊北町大字滝部、豊北町大字田耕、豊北町大字北宇賀、豊北町大字矢玉、長州出島</p>	
合計		7,391,567 人

(注) 下関市の残りの地域(18 ページ参照)は九州ブロックに属する。

## 10. 九州・沖縄ブロック(定数 14)

(①の人口+②の人口+③の人口+④の人口+⑤の人口+⑥の人口+⑦の人口+⑧の人口+⑨の人口=14,782,925)

①	<p>山口県について、以下の地域 下関市のうちの下記地域（地域の総人口：68,397人）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みもすそ川町、壇之浦町、本町、阿弥陀寺町、中之町、唐戸町、赤間町、宮田町、幸町、名池町、田中町、南部町、観音崎町、岬之町、入江町、西入江町、細江町、細江新町、豊前田町、丸山町、春日町、関西町、関西本町、長崎本町、長崎新町、長崎中央町、笹山町、上条町、長崎町、桜山町、神田町、東神田町、西神田町、山手町、中央町、元町、向山町、東向山町、栄町、向洋町、羽山町、汐入町、金比羅町、大坪本町、藤附町、大平町、筋川町、西大坪町、南大坪町、筋ヶ浜町、上新地町、新地西町、新地町、今浦町、伊崎町、長門町、竹崎町、大和町、東大和町、彦島海士郷町、彦島老町、彦島老の山公園、彦島本村町、彦島竹ノ子島町、彦島西山町、彦島迫町、彦島緑町、彦島江の浦町、彦島杉田町、彦島弟子待東町、彦島弟子待町、彦島桜ヶ丘町、彦島山中町、彦島角倉町、彦島向井町、彦島田の首町、彦島塩浜町、彦島福浦町</p> </div>	(人口：68,397人)
②	福岡県	(人口：5,049,908人)
③	佐賀県	(人口：866,369人)
④	長崎県	(人口：1,478,632人)
⑤	熊本県	(人口：1,842,233人)
⑥	大分県	(人口：1,209,571人)
⑦	宮崎県	(人口：1,153,042人)
⑧	鹿児島県	(人口：1,753,179人)
⑨	沖縄県	(人口：1,361,594人)
	合 計	14,782,925人

以上